

IMF サーベイ

譲許的融資

IMF が世界の最貧国向け譲許的融資を確保

2013年10月10日



マリで市場で買い物をする人々。新たな合意により、今後最貧国向けに金融支援が行われる（写真：Habib Kouyate/Newscom）

- IMF 加盟国、想定外の利益で長期的な譲許的融資の押し上げを約束
- クリスティーン・ラガルド IMF 専務理事、「歴史的な出来事」と評価
- 合意は IMF による長年の取り組みの集大成

ポイント：国際通貨基金（IMF）の加盟国は、複数年に渡る取り組みを経て、IMF の金売却に伴う想定外の利益の **90%以上**を、主要な融資制度に拠出することで合意した。

国際通貨基金（IMF）が保有する金を売却して発生した想定外の利益の **90%超**を、貧困削減・成長トラスト（PRGT）に拠出することに加盟国が合意、これにより世界の最貧国向けの譲許的融資の資金を確保した。

クリスティーン・ラガルド IMF 専務理事は、このコミットメントを「歴史的な出来事」と評価した。

新たに資金を確保したことで IMF は、低所得加盟国に対して年間平均 **12.5 億 SDR**（約 **19 億米ドル**）の長期にわたる融資が可能となった。この数字は IMF 支援の需要予測と概ね整合的となっている。これは、加盟 **151 カ国**が IMF の金の売却で発生した想定外の利益の自らのシェアを PRGT へ拠出することを合意した結果である。

「これにより、今後最貧国に対して十分なレベルの金融支援を行うことができる」とラガルド氏は述べている。

本合意は、PRGT の十分な資金を確保するために **1980 年代後半**に最初に構想された長年の取り組みの集大成である。

2009 年、IMF の新規歳入モデルを支えるため、IMF 理事会は金の総保有量の **8 分の 1**の売却を承認した。金の価格はほぼ記録的高値だったことから（利益の合計 **68.5 億 SDR**）**24.5 億 SDR**の想定外の「金の売却益」が IMF の一般準備金として確保された。

IMF の理事会は、想定外の利益を低所得加盟国の利益のために使用すること、およびこの配分は、配分される額の **90%**以上を代表する加盟国が、自らのシェアを PRGT に拠出するという確約した場合にのみ行われるという点で合意した。

この取り組みの先頭に立った IMF 財務局のロバート・パウエル氏は「理事会が全体的な戦略を承認したが、各加盟国による必要な拠出の確保が決定していたわけではなかった」と述べた。

「拠出を加盟国ごとに取り付けなければならなかったので時間がかかり、根気が必要だった」と同氏は説明した。

加盟国の支援を得るためのこのイニシアチブには、IMF のカントリーチーム、IMF 駐在代表事務所、およびこの戦略のためにロビー活動を行った IMF のマネジメントも関与した。

関連リンク：

[プレスリリースを読む](#)

[IMF の譲許的融資](#)

[IMF と開発目標](#)